

◆文献の所在検索&入手テクニック：日常業務の実例Q & A◆



みなさん、日常業務において、文献の所在検索や入手等で困ったことはありませんか!? そんな“困ったとき”の解決の糸口が見つかるよう、今回、「文献の所在検索&入手テクニック：日常業務での実例 Q&A」をテーマに、①論文を検索する際のQ&A、②入手に困った事例、③インターネットの活用により、幅広い知識が必要になった海外文献のみかたについて、④ISSN を取得している国内文献であれば、ほぼ入手可能である国立国会図書館の活用法について特集しました。さまざまな Q&A をあげていますので、ぜひ日常業務の参考にしてください!



知っておくと役に立つ!

司書なら一度は経験する「あるある」から、上級者向けの「なるほど」まで



事例提供者：会員のみなさま
編集：雑誌編集・リボジトリ委員会

<PubMed 編>

☺ Q1：依頼があり文献を入手したがスペイン語や中国語で読めないとクレームがあった

A1：PubMed の検索結果で、本文が英語以外の言語の場合は論題が [] で括られており、論題の後に [Article in OO] と使用言語が表示されている。依頼を受けたら司書が日本語・英語以外の論文でないか確認し、その他言語だった場合、入手前に「OO語の論文ですが入手しますか?」と依頼者へ確認を取ってから所蔵館等に依頼します。

☹ Q2：外国雑誌の省略タイトル、巻号、ページだけの情報で文献依頼をされた際に論題が分からず戸惑った

A2：著者、巻号、ページ等断片的な情報しかない場合は、PubMed では「Single Citation Matcher 機能」、医中誌では「書誌確認画面」から、わかっている情報だけで検索できます。

<文献検索編>

☹ Q3：1 度に学会抄録ばかり 150~180 件依頼された医師がいてあまりの多さにちょっと戸惑った

A3-1：当院でも以前、260 件ほど一度に文献の依頼をされたことがありました。申込件数の制限をしていなかったのが断ることはできませんでしたが、申込者には図書館間の相互利用のルールなどを簡単に説明し、すべて揃うにはある程度の期間と費用がかかることを了承してもらいました。

A3-2：「原著論文に比べて記載内容が少ないです。」と言って学会抄録の見本を見せると、半分くらいの利用者は原著論文のみを依頼されます。



Q4：看護師から依頼された文献（学会抄録）を渡したところ、この学会抄録の原著論文を読みたいと言われた。医中誌でこの著者の論文を検索したがヒットせず、投稿していないものと判断し、そう伝えましたが、どうしても読みたいと言う。学会抄録に記載してあった病院に問い合わせ、著者に事情を話したところ快くその論文を送っていただいた。その後、たまにこのような依頼を受けるが、著者の負担になると思い、断っている。この場合は、著者にまで問い合わせるべきですか？

A4-1：当院もこういったケースが時々ありますが、論文を検索してヒットしなければ断っています。基本的に出版物になっていないものまで手配するのは、図書館での文献入手の範囲ではないと考えますが、病院図書室という性質上、重要度や必要性が高い場合は要望に応じて手配しなくてはならない場面もでてくるかと思います。

A4-2：「個人まで問い合わせるかどうか」についてですが、私はケースバイケースではないかと思っています。希少な発表だとすると、どうしても入手したいということもありますが、著者にまで連絡でき、当時作成した論文が残っているかどうか微妙なので、まず、依頼者に次のことを伝えています。

- ①発表年が古い場合、著者が在職していないかもしれないので、入手の可能性が低いこと
- ②共著者やキーワード検索をし直して、類似文献がないかチェックし、その文献でよいか確認してもらう

それでも原文が…と申し出がある場合、問い合わせをしています。

しかし、類似文献が見つかった場合、ほぼ全員が「これで大丈夫」と言われます。最近インターネットという便利ツールがあるので、類似文献を見つけやすくなりました。

なお、ごくたまに著者の連絡先（E-mail等）が記載されていることがありますが、この場合は、依頼者から本人に連絡してもらっています。

※入手文献だけでなく、ほかに尋ねたいことがある場合など、直接、依頼者から連絡した方が、相違ないため。また、メール等の連絡をやりとりする中で、こんな文献やデータがあった等、有益な情報を得ることがあるため。

上記の理由を依頼者に伝えると、直接、本人に連絡してみると言われます。



Q5：文献入手先で、CiNiiで探しても所蔵館がなく、国立国会図書館にも所蔵がない場合は、皆さんはどこに依頼をしているのかを知りたい

A5：所蔵館を探す前に、まずは機関リポジトリやJ-STAGE等で無料公開されていないか確認します。

CiNii、国立国会図書館以外の所蔵館の検索方法は以下の要領で。

- ①日赤図書館協議会やそれ以外に所属しているネットワークがあれば、その合同目録で検索。
- ②大学図書館ホームページのOPACやオンライン検索などで直接検索（パッケージなどを契約している可能性があるため）。
- ③学会系は学会ホームページで確認するか直接学会に連絡する（執筆者が同じ学会に所属している場合は、利用者が知人を介して入手出来た例もある）。
- ④看護系は、看護学校や看護協会図書室のホームページで検索してみる。
- ⑤病院紀要は各病院の図書室か紀要発行部署に直接問い合わせる。

⑥サンメディアなどでの文献取寄せを検討（通常より料金が高いことを依頼者に連絡する）。

⑦出版社から直接ダウンロードで購入。

Q6 : 国内文献を検索する際、無料公開されているかは医中誌の検索結果だけでは判断できず、出版社のサイトに行くと、無料公開されている場合があるが、もっと効率の良い探し方はあるのでしょうか



A6-1 : 「公開されていない」と確認するのは「公開されている」場合より労力が必要です。検索結果に「JRC」のアイコンが表示されるようになって、以前に比べるとずいぶん効率が良くなったと感謝していますが、やはり無料公開されていないと確認するには、出版社や学会のサイトを個別に確認したりなどで時間がかかってしまいます。

私が J-STAGE 以外に参考にさせてもらうサイトを紹介します。

- 医学・薬学予稿集全文データベース <http://togodb.dbcls.jp/yokou>
- 長野県看護大学付属図書館 全文閲覧できる看護・医学系紀要、学会誌、雑誌 <http://www.nagano-nurs.ac.jp/library/kiyou0.html>

A6-2 : 医中誌検索後は、Google で論文タイトルを検索しています。タイトルの後に「PDF」を入力して検索するとすぐに見つかる時もあります。

**Q7 : 参考文献に記載があった文献で、次の情報からReprintの検索方法を知りたい
◆Sturge WA. Trans Clin Soc Lond.12 ; 162, 1879 (参照 : Reprintとは?)**



[経過]

検索し、論文タイトル : A case of partial epilepsy, apparently due to a lesion of one of the vasomotor centres of the brain、雑誌名 : Transactions of the Clinical Society of Londonであることが分かり、所蔵館への依頼は可能となりました。しかし、当時、Arch Neurol.1969;21 (5): 555-556. にReprintがあることを教えてもらい、そちらで依頼しました。依頼先からネットで調べた、と説明を受けたのですが、PubMedの著者検索でも出てこず、Reprintへたどりつくには、どのような検索をすればよいか教えていただきたいです。

A7 : ①Googleで検索するとResearchGateのページに同じ論文がヒットした。

②DOI : 10.1001/archneur.1969.00480170127014 の記載があったので検索すると、「Archives of Neurology」の該当論文にとび、「First page preview」で最初のページが無料で閲覧できた。その最初のページの左下部に、Reprinted from～の記載があった。

☆ちなみに「Transactions of the Clinical Society of London」は Harvard University Library (<http://fig.lib.harvard.edu/fig/?bib=005623620>) にフルテキストが公開されている（なお、このデータは American Libraries*にも転載されている）。

*American Libraries とは Internet Archive(<https://archive.org/>) というサイトの中にも含まれる、アメリカの多数の図書館が所蔵する Archive データをまとめて公開しているサイト。

★Reprint とは？

Q&A に挙げられていたように、別刷のことをリプリントという場合のほか、①複写 ②復刻、翻刻、または再版 ③（ほかの出版物の掲載記事・論文などの）抜き刷り、抜粋刷り（offprint）をリプリントと示すものもあります。

なお、国立国会図書館のレファレンス協同データベースでは、次のような記載があります。

「一度出版した書籍などの刊行物を再び出版すること。原版に使用された活字や図版を用いて再刊すること、または再刊されたもの。復刻。原版と同じ組み体裁で再刊される廉価版。多くは、原版の出版者とは異なる別の出版者が手がける。わが国で教科用その他の用途にあてるために出版されている英語その他外国語の図書の複製版がこれに該当する。（質問“印刷関係の専門事典で、「改訂」、「増刷」、「復刻」がどう解説されているか正確に知りたい”の回答から抜粋。 / 管理番号：PML20140827-01）」

<インタビューと回答方法編>



Q8：病名等から文献検索を依頼された際、事前の確認で何を聞いておけばよいか、どういった聞き方をすれば依頼者の意図を引き出すことができるでしょうか。

※病名などからその処置方法などの文献を検索してほしいと言われた場合、その病気が分からなかったりするので、複合的にどういった条件を追加で検索したらよいか質問できず、病気そのものを調べたうえで、かなり漠然としたものを検索し、その後もう一度打ち合わせる必要が出てきてしまっています。どんな場合でもこれを事前確認すべきというものがあれば教えてほしいです。

A8：医学情報を提供されている「インフォレスタ」のページに掲載しているインタビュー方法を参考にまとめてみました。

<http://www.inforesta.com/content02/2009/08/post-5.html>

<http://www.inforesta.com/content02/2009/04/4.html>

- ①使用目的（診断・治療・比較・評価・調査研究）など背景を聞く
- ②目的から何が必要かを具体的に聞いていく（病名に掛け合わせる単語など）
- ③内容の程度（論文タイプ：総説や解説・症例報告・臨床試験など）
- ④期限

【その他】

- ・口頭でインタビューする時は、同音異語に気をつける（「心筋症」と「真菌症」など）
- ・略語について確認しておく
- ・著者からの検索は、筆頭著者の文献だけか、連名のものも必要か確認しておく

【雑誌名から内容を推測して提示】

- ・「Review」を含むタイトル→要約、解説をすることで、問題の整理や評価を行うレビュー論文を扱う雑誌
- ・「Annual」を含むタイトル→年鑑・年報など1年をまとめたもので、総説的な論文が多いレビュー雑誌
- ・「Annals」・「Bulletin」を含むタイトル→学会・大学・研究所など研究機関が発行する機関誌（紀要）
- ・「Proceedings～」を含むタイトル→学会抄録（主に会議録）

Q9 : 脳神経外科のドクターから「クローバーリーフ症候群」の外科的文献がほしいとの問い合わせがあったが、検索しても HIT しない。



[経過]

医中誌Webで「クローバーリーフ症候群」を検索。HITなし。シソーラスもみているが該当なし。Googleで「クローバーリーフ症候群」と検索すると1986年の文献に「クローバー葉頭蓋症候群」というキーワードを発見。医中誌で同キーワード検索をするがフリーキーワードのためHIT件数が少ない。辞書でキーワード検索するとどうも頭蓋骨癒合症の一種で先天奇形であるとわかった。「三葉頭蓋」という単語もあったので医中誌で検索するがHITなし。「頭蓋骨癒合症」「外科的療法」で検索すると十分な検索結果が得られた。

A9 : 聞き慣れない疾患等の問合せがあった場合

- ①辞典や専門書籍を確認する。
- ②インターネットで検索する。
- ③依頼者にどういった疾患なのか、また別名がないか等、もう一度レファレンス上記方法とあわせ、単語を組み合わせで検索することでも検索結果が広がります

Q10 : 利用者から、ウオーターパールの戦いで、戦死者の状況等を調べたいと問合せがあった。



A10 : まず、「ウオーターパール」という単語が記憶になかったので、辞書でキーワード検索してみましたが見当たらず、利用者に再度レファレンスしました。

大きな戦争だったので、辞典にのっていないことはないとのこと。図書室にあるすべての辞典をあたってみると、1冊だけ「ウオーターパール→ウオータールー、ワートルロー参照」の表記あり。

また、話の中で、赤十字の軌跡について調べていると述べていたので、イタリア統一戦争に関係があるかもしれないと思い、赤十字関係図書をあたり、ウオーターパールはワートルローの英語読みであったと分かり、関係資料を提供した。

※はじめにレファレンスをしっかりとることの大切さと、同じ言葉でも、発音・違う言語読みがあることを念頭に探すことも必要という、良い経験でした。